2026 年 11 月 26 日

各位

株式会社ドリーム・アーツ



モスフードサービス、基幹システム刷新に向けた統合マスタ基盤に SmartDB を採用
～約 1,300 店舗を支えるマスタ情報を一元化、業務・データ・システムを一体で変革～

大企業向けクラウドサービスの株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、株式会社モスフードサービス（本社：東京都品川区、代表取締役社長：中村 栄輔、以下 モスフードサービス）が、2028 年度までに段階的に進める基幹システム刷新において、統合マスタ基盤として大企業向け業務デジタル化クラウド「**SmartDB®**（スマートデービー）」を採用したことをお知らせします。

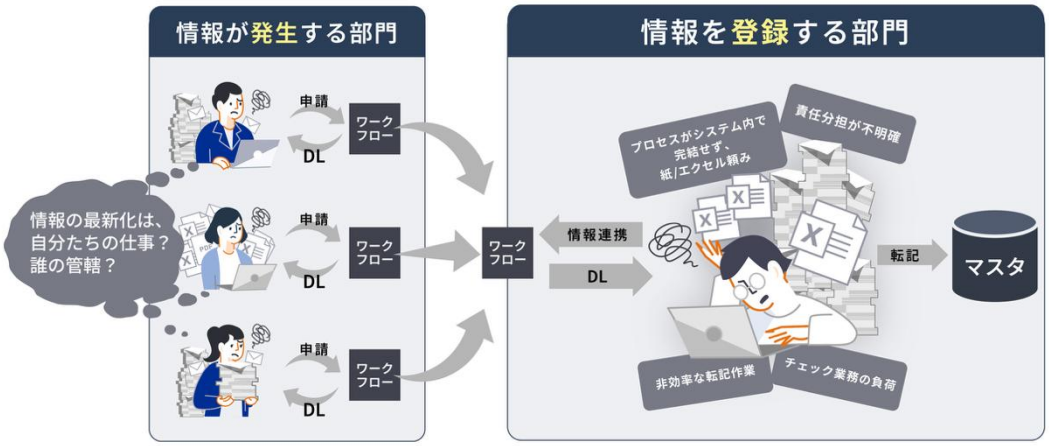
モスフードサービスでは、**SmartDB®**を活用し、店舗・オーナー・商品などのマスタ情報と、その入力から承認、マスタへの反映までの業務プロセスを一元管理します。 2026 年 10 月に、加盟店オーナーの情報を管理する「オーナーマスタ」の稼働を開始しました。 今後は、「店舗マスタ」「商品マスタ」などへ対象を広げ、店舗運営を支えるマスタ情報を全社共通の基盤として整備します。

■背景：基幹システムの老朽化に伴うマスタ情報管理の見直し

モスフードサービスは、加盟店を含む全国の「モスバーガー」約 1,300 店舗を展開しています。同社は、店舗管理や売上・会計、物流などの業務を長年支えてきたスクラッチ開発の基幹システムが老朽化したことを受け、2026 年度から 2028 年度にかけて段階的に基幹システムの刷新を進めています。 「Fit to Standard（標準に業務を合わせる）」の方針のもと、業務・データ・システムを一体で見直しており、その土台としてまず、各システムが参照するマスタ情報の管理改善に取り組みました。

オーナー・店舗・商品のマスタ情報は、出店や運営者の変更、新商品の投入などにより日々更新されます。 従来は Excel や紙の依頼書をもとに主管部門が手作業で登録しており、二重・三重の転記や確認作業が発生していました。 また、責任分担が不明確な部分もあり、マスタ情報の整合性の確保と統制の強化は、ガバナンスや経営リスクの観点からも全社で取り組むべき課題でした。

【イメージ図：マスタ登録業務の現状と課題】



■SmartDB で実現すること：マスタ情報の一元管理とガバナンス強化

モスフードサービスは、新たなマスタ管理の仕組みを「MOS Compass（モス・コンパス）」と名付けました。 全社が共通の情報を基盤として業務を進めるための「羅針盤」という意味が込められています。 MOS Compass では、情報が発生する部門での入力から確認・承認、マスタへの反映まで、一連の業務プロセスを一元管理します。 従来、依頼書の作成や手作業での登録など、分断されていた業務を一つの仕組みでつなぎ、転記作業や入力ミスを削減します。 また、情報が発生する部門が登録・変更内容に責任を持ち、所定の確認・承認を経てマスタに反映することで、情報の正確性を担保します。 さらに、変更内容や承認の経緯を証跡として残すことで、業務の透明性を高め、マスタ情報のガバナンスを強化します。

今後は、MOS Compass で承認したマスタ情報を刷新後の基幹システムへ連携し、全社が共通の情報を参照できる仕組みを整えます。 部門やシステム間で情報の整合性を高め、日々の店舗運営から出店・商品施策などの意思決定までを支えます。

【イメージ図：マスタ登録業務の改善】



■SmartDB の選定理由：豊富な標準機能と大企業での導入実績

SmartDB®の主な評価ポイントは次のとおりです。

- **個別開発に頼らない豊富な標準機能**
  マスタの登録・管理から承認ワークフローまでを個別開発せずに標準機能で実現できる点。
- **ノーコードで業務の変化に柔軟に対応**
  プログラミングなしでマスタの項目や区分の追加、承認フローの変更などができ、事業や業務の変化に合わせて、自ら継続的に仕組みを改修できる点。
- **大規模なマスタ情報管理の実績**
  1,000 店舗を超えるフランチャイズチェーンなどで、マスタ管理基盤としての導入実績があり、大量のマスタ情報に対応できる点。
- **データベースと業務プロセスを一体で管理できる基盤**
  マスタ情報と、その登録・更新に伴う業務プロセスを一元管理し、外部システムとも連携できる点。

■今後の展望

モスフードサービスは、オーナーマスタに続き、店舗マスタ、商品マスタ、仕入先マスタ、メニューマスタを順次 MOS Compass へ移行し、その他の小規模なマスタも集約する予定です。さらに今後は、店舗への請求登録業務や、本部仕入れに伴う支払い登録業務にも **SmartDB®**の活用を広げる計画で、将来的には稟議申請などの全社ワークフローへの活用も検討しています。

なお、同社では基幹システム刷新の一環として、本部・店舗間のコミュニケーション基盤にドリーム・アーツの多店舗オペレーション改革クラウド「**Shop らん®**（ショップラン）」も活用しています。

SmartDB®と **Shop らん®**の活用を通じて、同社は 2028 年度に向けて業務・データ・システム全体を再整備し、基幹システム刷新を進めていきます。

■株式会社モスフードサービス 執行役員 IT 戦略室長 森 秀樹 氏からのコメント

当社は 2028 年度までの基幹システム刷新に向けて、業務・データ・システムの一体的な見直しを進めております。その土台として最優先に取り組んだのが、マスタ情報の整備です。**SmartDB®**は、入力から承認、マスタへの反映までを標準機能で一元管理でき、情報が発生する部門が登録内容に責任を持って管理できる点を評価いたしました。「MOS Compass」という名前には、マスタ情報を全社共通の基準とし、業務や意思決定の羅針盤にしたいという思いを込めております。 今

後は店舗・商品マスタなどへと対象を広げ、全社が共通の情報をよりどころに業務を進められる経営基盤を築いてまいります。

ドリーム・アーツは、今後も“協創”を理念に掲げ、「現場力強化」「企業競争力向上」に役立つトータルソリューションを提供してまいります。

■当社連結業績への影響

本件による連結業績に与える影響は軽微であります。 今後、業績予想を変更すべき事象が生じた場合は速やかに発表させていただきます。

SmartDB®（スマートデービー）について　https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/

SmartDB®は、大企業市場シェア No.1 (※) の業務デジタル化クラウドです。 現場個別の業務から全社横断業務までノーコードで開発可能。 ワークフローと Web データベースを中心に多彩な機能をもち、柔軟な外部システム連携、きめ細かな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。 三菱 UFJ 銀行や KDDI、ツルハホールディングス、筑波大学など、大企業を中心にあらゆる業種業態のユーザーが利用中です。 サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※　テクノ・システム・リサーチ「2025 年 SaaS 型ワークフロー市場メーカーシェア調査」より（2026 年 4 月時点）

株式会社ドリーム・アーツについて　https://www.dreamarts.co.jp/

「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに掲げるドリーム・アーツは、「協創」を自ら体現することで、顧客の真のソリューションパートナーとして総合的な課題解決をお手伝いしています。

主なサービスとして、大企業向け業務デジタル化クラウド「**SmartDB®**」、多店舗オペレーション改革を支援する「**Shop らん®**（ショップラン）」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「**InsuiteX®**（インスイートエックス）」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>
株式会社ドリーム・アーツ　広報担当　金井、岡
〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3　恵比寿ガーデンプレイスタワー29F
TEL：03-5475-2501 / 090-9149-3958　E-mail：pr@dreamarts.co.jp
記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。
©DreamArts Corporation.